

鈴木 秀樹(すずき ひでき)先生のプロフィール

勤務先 鈴木内科クリニック

経歴 昭和60年 浜松医科大学卒
県西部浜松医療センター、沼津医師会病院、静岡市立静岡病院等を経て

平成6年6月 鈴木内科クリニック開業

平成3年 日本内科学会認定内科専門医

平成6年 日本循環器学会認定循環器専門医

平成10年 日本東洋医学会認定専門医

平成19年 日本東洋医学会代議員、日本東洋医学会東海支部静岡県部会長

専門 内科・循環器科



◆先生が初めて漢方と出会われたのはいつ頃ですか

平成2年に紫斑病性腎炎を発症し1年半の休職を経験いたしました。

ステロイドパルス療法や抗凝固療法も行ったのですが、その時に内服したのが柴苓湯です。スムーズにステロイドを減量中止できたのは柴苓湯のおかげだと思っています。

◆先生の御専門で漢方はどのような効果を発揮していますか

西洋薬で満足が得られなくて当院を受診される場合が多いのですが、風邪、冷え、虚弱、アレルギー疾患、ストレスがらみの病態等に漢方が威力を発揮して患者さんに大変喜ばれています。

◆普段の治療で漢方薬と西洋薬との割合はどれくらいですか

専門の循環器領域では力不足で、ほとんど漢方を使用していないため漢方薬4割、西洋薬6割位です。

◆10年後の漢方医療はどうなっている(またはどうあってほしい)とお考えですか

漢方薬と針灸の併用が、もう少し臨床研究され、発展しても良いのではないのでしょうか。

◆先生ご自身漢方を飲んで効果を実感なされたことがありますか

開業して14年になりますが、一度も診療を休んでいません。
患者さんには風邪を引かないと思われているのかもしれませんが、
実はしょっちゅう風邪をひいており、漢方を飲んで即座に治しているというのが実情です。

◆これから漢方医を志す方に一言お願いします

一人の患者さんにとってどの治療が最善なのかを西洋薬、漢方薬にこだわらずに
日々考え続けて欲しいと思います。

◆漢方に関心のある一般の方に一言お願いします

漢方の効果を実感したら、是非ご友人にもお勧めください。



注意:先生へのインタビューは、経歴以外、当会が2008年3月に行った内容です。